

外出に行きました

外出企画を実施しています。有償ボランティアなどを利用し、外出を楽しんでおられます。



排泄支援について学びました

職員は、支援技術などの向上を目的に毎月、施設内研修に取り組んでいます。7月は排泄支援について学びました。



厚生センター晴雲の苦情のお知らせ

今年度、4月～8月に職員対応について苦情が1件ありました。施設として真摯に受け止め、改善に取り組んでまいります。

集めています！ 厚生センター晴雲では、着なくなった衣類（綿系など）や浴衣（男女、子ども用問いません）、使用しなくなったタオルやシーツなどをウエス（雑巾等）や布ぞうりとして再利用しています。ご自宅にあればご協力をお願いします。

カレーパーティーをしました

毎月、調理員が目の前で作ったり、盛り付けたりして食事を楽しんで頂けるように企画をしています。



43

晴雲だより

2023.9月号

我が家の田んぼの稲がそろそろ収穫の時を迎えます。

四月に種をまき、五月に田植えをして、夫が大事に世話をし、見守ってきた田んぼは、秋風に黄金色の稲の波がたち、今か今かとその時を待っています。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から厚生センター

晴雲の事業運営に対しご協力を頂きありがとうございます。

さて、五月にコロナウイルス感染症が5類に移行し、私たちの日常生活も落ち着きを取り戻しつつあります。その中で、厚生センター晴雲の実践理念である「『あなたで良かった』と
思ってもらえるように、一人一人の想いに寄り添います。」を実践するために、晴雲では、利
用者の皆さんの希望を聞きながら外出や行事等生活に楽しみや潤いをもたらすよう取り組んでい
るところです。例えば、大好きな歌手のコンサートに出かけ熱狂的な応援をした方やポップ
サーカスを見に行った方、職員と買い物を楽しんだ方等がいらっしゃいました。また、八月は
各フロア等でミニ夏まつりを行いました。こういったことを実践するために、職員は、日頃か
ら利用者の皆さんと真摯に向き合い、想いや願いを言葉だけでなく表情や行動から観察し汲み
取っていきます。利用者の皆さんの細やかな願いが叶った時こそ理念の実践に一步近づくもの
ではないかと思えます。そして、職員にとっては、この経験こそが働き甲斐やモチベーション
に繋がるものと思っています。仕事は、身体的にも精神的にも負担の大きなものですが、それ
以上に実践理念にある『あなたで良かった』と言っていたただける瞬間があるからこそ続けられ
る理由の一つになっています。

利用者の皆さんと職員が笑顔でいられる環境を整えるために施設一丸となって頑張ってい
ますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

厚生センター晴雲
自立支援課長 恩田 直美



お知らせ

今年度も新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきありがとうございます。ご利用者・ご家族の皆様には外出、外泊、イベント等にはいろいろとご不便をおかけしております。ご利用者様の日常生活の様子につきましては、本広報誌の他に、左記のホームページ上で随時更新していくことを考えております。インターネットで「厚生センター晴雲」と検索していただくと当施設のホームページが閲覧できますので、是非ご覧ください。

晴雲だより 第43号 令和5年9月8日 発行

発行：障害者支援施設 厚生センター晴雲

〒690-0015 島根県松江市上乃木7-1-28

編集：自立支援課広報係

TEL：0852-27-5192

FAX：0852-24-4876

E-Mail：seiun@ssw.or.jp

HP: <https://www.ssw.or.jp/facilities/disabilities/seiun>



「ミニ夏祭りを開催しました」

今年は、各フロアで「ミニ夏祭り」を開催しました。「バルーンアート」「千本釣り」を始め、「駄菓子屋」「はしまき」「パフェ」「かき氷」の屋台をしました。当日は、提灯を飾ったり、法被を着て、夏祭りの雰囲気を取り上げました。



今年も以前のように地域の人と一緒にすることはできませんでしたが、入所者の皆様に夏を感じて頂けるように、職員も楽しみながら行いました。日頃の支援では見られない笑顔も見る事ができて、とても幸せでした。